



### 校章デザインについて

1. 主体のだ円の交差（学校と家庭）は、小室八幡神社の神紋である違鷹羽を抽象化したもので（過去）小室の歴史と（現在）エレクトロニクス時代・（未来）宇宙への拡大を表し、また、学校教育充実、伸展を希求するための学校と家庭との密接な関連・提携を期待したこどもおよび学校の限りなき成長と次代への発展を象徴した。
2. 円形を主体とした小室の文字のデザインは、円満な人格形成・指向する教育の根本を表わし、更に小室の文字を包む同心円は、旧小室の住民＝（こども）＝中心の円＝と新しく入居した住民（こども）＝外側の円＝との新しい学校づくり・町づくりにおける協力と調和を表現しており、外側の円の三つに区切られた形は、それぞれ日本住宅公団・都市公社・供給公社の構成体を表わし、この基本構成が今後の小室小学校の・小室町の発展の基盤となっていることを表わした。
3. 校章の地色の橙々色は、昇る朝日の燃える輝きと隆盛を、だ円の青と白は、限りなき空の青を想い澄みきった心と純白の汚れを知らぬ心を象徴した。

（初代校長 西野 昇 先生の「校章デザインに寄せて」より）